

みんなの本

徳山ダム 導水路は いらない!

河村たかし
名古屋市長は
「撤退宣言」

徳山ダム導水路はいらない!

「ムダ重ねる」と批判

近藤ゆり子さん著

著者は「徳山ダム建設中止を求める会」を一九九五年に設立し、事務局長を務めてきた反対運動のリーダー。

徳山ダムの水を木曽川などに運ぶ連絡導水路をめぐっては、名古屋市の河村たかし市長が撤退方針を表明、事態が大きく動いた。本書は同市が八月二日に開く公開討論会を前に、緊急出版した。

豊富なデータを交

え、水余りの現状や、国が当初の事業目的だった利水に治水や環境改善を加え、建設を推進してきた経緯を解説。今後の焦点の撤退手続きについても自らの担当者に聞き取り、一市単独の意志で撤退は可能」と指摘する。

徳山ダムに続く導水路を「ムダにムダを重ねる事業」と批判する一方で、三額の建設費

を負担することになる下流の都市住民たちの「無関心が最大の罪」との指摘も重い。

四六判、163頁。

1000円。名古屋市中区上前津2の9の

14、風媒社 電052

(331)0008

発行。